

# 指定生産者から消費者のみなさまへのメッセージ

## 今月は鹿追のみなさまからのメッセージをご紹介します



スマートフォンなら  
QRコードでアクセス

～よつ葉乳業(株)ホームページ 共同購入事業50周年記念サイトより～

良い土を育て、良い作物を育て、良い牛育てをモットーに毎日頑張っております。配合飼料を極力使わず、自給飼料をメインに給餌しております。

牛は生き物であって、日々、体調の変化があるんですけれども、言葉の通じない動物と毎日やりとりがあるんですけれども、体調変化や日々のストレスを読み取ることが非常に難しいんですけれども、そこはスタッフや家族と協力して、毎日、乗り切っています。畜舎の中では、夏場は牛への暑さのストレスを軽減させるために、換気扇を回して、ミスト、水を噴霧して涼しくしたり、対応しています。冬は、仔牛に限りなんですけど、ジャケットを着させたり、マフラーを首につけて寒さをしのいでおります。

搾乳牛が300頭ぐらい飼育しています。当初からフリーストールです。ロボット搾乳です。(ロボットは)4台です。搾乳ロボットを導入したことによって、牛が自由に歩き、自由に食べ、自由に寝て、自由な時間に搾乳をされて、本当にストレスのない環境で育っている、と思っています。

### (株)下山牧場 下山祐毅さん



一生まれたての仔牛は専用スペースで大切に育てられます



搾乳ロボットは乳房の洗浄、搾乳だけでなく配合飼料の給餌も担っています



夏は、ご覧の通り牧草に放牧しまして、青草をお腹いっぱい食べさせるようにしています。冬には運動場に放して日光浴をさせるようにして、なるべくストレスをかけないようにしています。安全な餌を食べて、安全な牛乳を搾乳したいという気持ちからNON GMOの牛乳を生産するようになりました。

牛は、育成も含めまして35頭ぐらいです。のびのびしてますし、寄ってきますね。外で飼うということで、足腰も強くなりますので、結構、年寄の牛が多いというのも。牛が長持ちするんですね。仔牛を4産以上しているということですね。ちなみに粗飼料はすべて自給飼料を与えています。これなんかは10産してますね。結構年寄。うちで二番目かな。一人でやるようになってから、ああいう放牧でやるようになって、手間をかけないように、少し頭数を減らして、コストをかけないように。

### 武者秀之牧場 武者秀之さん



「(牛の体が)結構光ってると思うんですね。自分で言うちょっと照れちゃいますけど」という武者さんに牛が接近!



「水と塩は欠かさないようにして。いつでも飲めるようにしています」

10産しているベテラン牛も動画に出演

### 台蔵牧場 台蔵誠さん



自由に動けるフリーストール



サイレージは平積みです



給餌も機械化して省力



搾乳してほしくなった牛が、自分から搾乳ロボットに入ってきます



分娩前の牛が過ごす放牧地



### 高田牧場 高田泰輔さん



牧場にはジャージーも



土壌分析から取り組む牧草の収穫



↑給餌は機械化しています



敷き藁は人手でたっぷり、ふんわり

良質な牧草とデントコーンのサイレージを生産するように心がけています。それによって餌代も抑えられますし、牛も健康になるので、すべては餌で決まると考えています。健康な牛からはおいしい牛乳が搾れると思っています。

ここに130頭ぐらいいて、元の牛舎に20頭ぐらいいます。この牛舎が搾乳ロボットの牛舎なんで、搾乳ロボットで搾乳できない牛が繋ぎ牛舎にいます。

(子供のころから)トラクターとかトラクターとかが大好きで、それに乗れるんなら酪農でもやろうかなと小さい頃に思って、そんなまま。いざ継ぐときはそれだけじゃなかったですけど、ベースがそこにあって、そんなにもともと動物はそんなに好きじゃなかったんですけど、だんだん、やっていくうちに、という感じですね。

(搾乳ロボットは)2台1セットで100頭から120頭ぐらいというのが基本です。うちは2台。

分娩前の妊娠している牛をここで放牧して、健康に赤ちゃんが生まれるようにしています。

健康な牛を育てるためには、健康な草、安心安全な草を育てて、その安心安全な草を育てるためにはやっぱり土壌がいい環境、環境が健康的な土壌でなければいけないというところを気を付けて管理していますね。土壌分析をしてもらいまして、それに適した施肥設計をいただいています。ミネラルバランスとかその辺を気にしながら、作物に必要な分だけの化学肥料を入れるような形で、必要最低限の施肥で作物を育てています。餌のほうは自動給餌になっているので、一頭一頭、牛のメニュー、餌の量は個別に管理できるように。寝床、牛床は、きれいにしておきたいので、寝糞は極力多めに、牛の牛体を汚さないようにっていう部分では気を付けています。

餌の完全国産化という部分は目指していきたいと思うんですけども、ウチの場合だったら、まず手始めにジャージーで小ロットからスタートしていけるという強みも持っているんで、そこからよつ葉さんのホルスタインの牛乳の方に関してもそこからステップアップしていけるようにっていうのは目指していますね。